This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

公開実用平成 2-142803

⑩ 日本 園 特 許 庁(JP)

①実用新案出願公開

② 公開実用新案公報(U) 平2-142803

Sint. Cl. 3 識別記号 庁内整理番号 ❸公開 平成 2年(1990)12月 4日 G 02 B B 26 B H 02 G 6/245 27/00 1/12 7366-3C 7161-5G 9017-2H 3 0 1 D G 02 B 6/00 審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

母業の名称

願 平1(1989)4月28日

芳 樹 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑦出 願 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目7番1号

砂代 理 人 弁理士 内 原

明 細 書

1. 考案の名称

光ファイバのプライマリーコート除去治具

2. 実用新案登録請求の範囲

弾性復帰可能なU字形に成形した板バネの両端 に先端が合成樹脂から成る鋭角な爪刃を備え、前 記両刃が互いにかみ合う構造を有することを特徴 とする光ファイバのプライマリーコート除去治具。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は光通信用コネクタの製造に関し、特に 光コネクタの端末処理工程に於ける光ファイバの プライマリーコート除去作業に関する。

〔従来の技術〕

従来、この種の作業は光ファイバのプライマ リーコートを手作業で爪先を使って除去していた。

[考案が解決しようとする課題]

 ~ -1

19<u>.</u> 実開 2-142803

公開実用平成 2-142803

上述した従来の方法では、爪先を使う作業の為作業性が悪く、また品質の安定に欠けるという欠点がある。

[課題を解決するための手段]

本考案の光コネクタのプライマリーコート除去 治具は、弾性復帰する板バネの可動部と鋭角な爪 先のプライマリーコート除去部を有している。

〔実施例〕

次に、本考案について図面を参照して説明する。 第1図は本考案の一実施例を示す斜視図である。 図において、1は板バネ、2は爪刃、3は2を1 に固定するネジである。

次に使い方について説明する。

最初、前工程にて一定寸法に保護被膜を除去し、 芯線が露出した光ファイバケーブルを爪刃2の間 に挿入する。次に1の板バネに適度な压力を加え 光ファイバケーブル先端方向に引き抜きプライマ リーコート除去作業を行う。

[考案の効果]

以上説明したように本考案は、板バネに固定し



た先端が鋭角な爪刃でプライマリーコート除去作業することにより、作業者に爪先の高度な技術を要求しない為、作業効率及び品質の向上の効果がある。

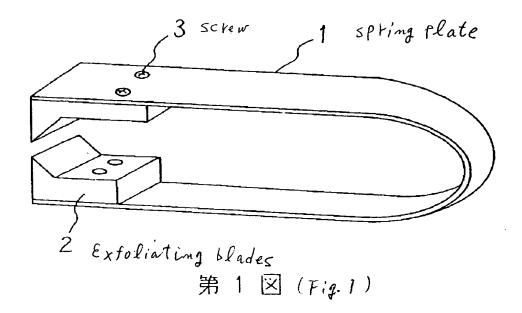
4. 図面の簡単な説明

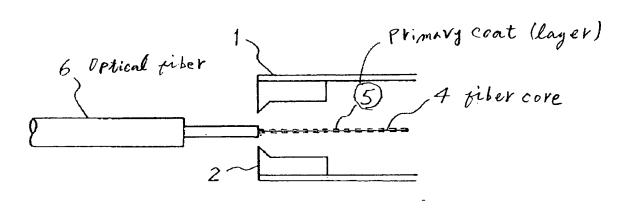
第1図は本考案の実施例を示す斜視図、第2図 はその側面図である。

1 ……板バネ、2 ……爪刃、3 ……ネジ、4 ……芯線、5 ……プライマリーコート、6 …… 光ファイバケーブル。

代理人 弁理士 内 原 晋

公開実用平成 2-142803





第2図 (Fig.2)

22

代理人 弃理士 内原 晋

車開 2-142803